

やさしさ、あたたかさを発信!



南阿蘇社協だより

南阿蘇村 福祉運動会開催

今回、10回目を迎えた福祉運動会!
総勢1,000名の参加のもと、ボールリレー、輪投げ、
ドッチビーなど7つの競技を楽しみました。

みごとに通過、
となりのコースの円盤も。

No.52

平成26年.11.28
発行

社会福祉法人 南阿蘇村社会福祉協議会
TEL 0967-67-0294 FAX 0967-67-2317



来年も待つてます。

第10回 南阿蘇村 福祉運動会開催

赤い羽根共同募金配分金で実施しています。

最高齢者表彰

- (左) 白水地区 桐原 明さん(91歳)
- (中) 久木野地区 原田 需さん(87歳)
- (右) 長陽地区 宇都宮 明夫さん(90歳)



ボールリレー



うまく
回らん
バイ。



はよ～はよ～

よ～し!
まとめて
放り込むバイ。

玉入れ



地区ごとに応援 なつかしい 顔・顔



元気しとつたな～



あら～
負けたばい。
強かねえ。



なかなか
入らんなあ

ジャンケンポン



うき～うき～

去る、9月28日(日)、白水体育館において60歳以上の村民、福祉関係者や保育園児ら約1,000人の参加のもと「第10回福祉運動会」が開催されました。

たくさんの応援の中、ボールリレー、パン食い競争など7つの競技を楽しみました。終始、歓声と笑いに包まれた運動会となりました。

アトラクション

かわいらしい
白水保育園児の
ダンス



選手宣誓

選手宣誓は
白水地区 本田 智博さん
河野 昭子さん

手は
ダメよ～
ダメダメ。



段ボールリレー

あら、しもた～!



あわてず 落ち着いて…

パン食い競争

意外と
じかす。



ナイス!!!



ドッチビー投げ



輪投げ

よく
ねらって…



入れて
見せつけん
見せなせ!



私の生きがい



喜多区
宇都宮 明夫さん
大正13年5月27日生まれ(90歳)

インタビュー

◎元気の秘訣は何ですか？
◎毎日、長陽駅まで往復歩いていま
す。近くの若いものと好きなコー
ヒーを飲んだり色んな話をして元
氣をもらいようとしています。
◎楽しみは何ですか？
◎カメラで景色や人を写すことが大
好きです。千葉の孫たちに会いに
行くのも楽しみにしています。
☆「80歳まで、山登りしよりました。
今でも、山が縁で知り合った友達
に会いに行きます。」とこのこ顔
で話されました。

展示コーナー

小・中学校のボランティア活動や
ボランティア団体の活動等を展示



第8回みなみあそボランティアまつり開催!!

赤い羽根共募金配分金で
実施しています。



まつりに参加された皆さん



オープニングセレモニー

長陽中学校吹奏楽部の演奏でスタート



熊本放送アナウンサー 木村 和也さんの講演会
「言葉でつなぐ心の絆」と題して講演

ワークキャンプ体験発表



白水中学校 3年生 金本 唯奈さん
久木野小学校 5年生 家入 莉奈さん
福祉施設等での利用者との交流や介護体験を
通して、人と人との支え合う大切さを体感。

体験発表

やまびこネットワーク
体験発表
新所区
丸野 健雄 区長



先の災害を教訓に自主避難訓練を実施。地域
の支え合い事業「やまびこネットワーク活動の
取組み」を発表。



やまびこ君もお出迎え

アトラクション



ボンボ藤井さん
ウクレレの音色に会場も「うっとり」



マジシャン☆一周さん
イリュージョン・マジック
に会場もビックリ



ウクレレの曲に合わせて

災害炊き出し訓練



婦人会の皆さん、
今年もおいしいカレーを
ありがとうございました。今年も大好評!!

模擬店コーナー



筋肉量バランス測定コーナー

くまもと健康支援研究所

バザーの品物のご協力、
ありがとうございました。



早朝より模擬店の
準備をする職員
おでん、ぜんざい、万十、
カップケーキと…職員が
早朝より心をこめて作り
ました。

主催者挨拶



南阿蘇村社会福祉協議会
藤崎 英廣 副会長

開会宣言



ボランティア連絡協議会
古澤 順正 会長

皆さんよりご協力いただきました
ハザー売上 48,700円
模 擬 店 49,593円
募 金 箱 20,932円
と、合わせまして119,225円になりました。
この益金につきましては、全額、熊本県共同
募金会へ送金しました。
ポン菓子を作られた野田真雄さん(9駐在
区)から長陽中吹奏楽部の皆さんへポン菓
子のプレゼント。残りの売上は共同募金へ
募金されました。

ご協力ありがとうございました。

広めよう、ボランティアの輪・和・話

家庭における 認知症介護のポイント

ポイント4 認知症介護の基本 認知症の方の抱える問題を理解しよう。

認知症は、身近な病気です。家族みんなで地域ぐるみで支えていけるよう、認知症についてシリーズでお届けしています。

認知症の症状に対する対応方法

中核症状

認知症の方は、直前の出来事を忘れていたり、時間や今いる場所がわからないなどにより、不安感、ストレスなどを感じています。また、記憶力、理解力、判断力等は低下しますが、感情が残っています。このことを十分理解したうえで、介護することが大事となります。また、認知症の方の性格、これまでの生活歴、健康状態を踏まえ、「何を考え、何をしたいと思っているのか」を考えてよりそう事が大切となります。

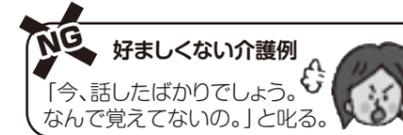
もの忘れ

症状の一例です。

電話で話した内容、電話の相手を覚えていない。



「電話の相手は、男の人だった？ 女の人だった？」と優しく尋ねてみましょう。



ワンポイントアドバイス

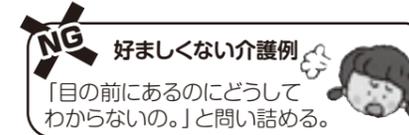


認知症の方は昔のことは覚えていても、新しいことを覚えられないのが特徴です。本人は初めて聞いたり、言ったりしているかと思っておりますので、同じことであっても、ゆっくりと話を聞いたり、繰り返し答えたりしましょう。また、一度に多くのことを聞かないようにしましょう。

時計やボールペンなど品物の名前がわからない。



「これが時計だよ。」「これがボールペンだよ。」など優しく説明しましょう。



時、場所、人物がわからない

症状の一例です。

「あなたは誰？」と自分の配偶者や子どもなどに尋ねる。

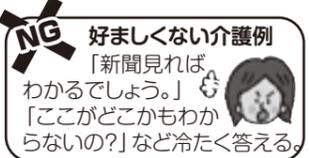
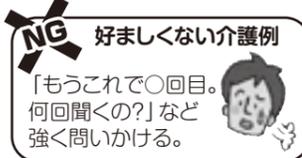


「妻の〇〇だよ。」「長男の××だよ。」ときちんとわかるように伝えましょう。

「今日は何日？」「ここはどこ？」と繰り返し尋ねる。



「今日は、×日ですよ。」とカレンダーを指すなどしながら説明しましょう。



理解力や判断力が低下する

症状の一例です。

料理を順序よく作れなくなる。

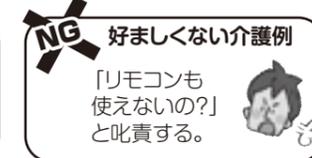
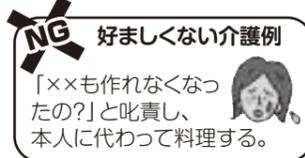


「一緒に作りましょうか。」と声をかけ、料理作りをサポートしましょう。

テレビやエアコンのリモコンなどが使えなくなる。



「これはこのように使うんだよ。」ときちんとわかるように説明しましょう。



ワンポイントアドバイス

認知症の方は記憶があいまいになり、不安を感じて確認の意味で尋ねている場合もありますので、丁寧に答えましょう。

ワンポイントアドバイス

認知症の方は、計画を立て、順序立てて行うことが難しくなります。今は何をしているか、次に何をすることをわかるように言葉をかけたり、次にすることがわかるように手伝いましょう。

熊本県認知症コールセンター

さーここ いいなここ

熊本市中央区上通町3-15 ステラ上通ビル3階 ☎096-355-1755

E-mail nintisho@oasis.osn.ne.jp

介護サービスをご利用ください

訪問介護事業

サービスの内容

◆身体介護

食事の介助
排泄の介助
衣類脱着の介助
入浴の介助等

◆生活援助

調理 洗濯
買い物 清掃等



介護認定を受けた高齢者および身体障がい者の自宅へホームヘルパーが訪問して、「身体介護」や「生活援助」のサービスを提供します。

お問い合わせ先 南阿蘇村社会福祉協議会 TEL 67-0294

認知症の症状

中核症状と周辺症状

認知症の症状には、認知症の方に必ず見られる「新しいことを覚えられない、以前のことを思い出せない。」(記憶障害)や「段取りが出来ない、計画が立てられない。」(実行機能障害)などの「中核症状」と、環境

変化や身体の状態、介護の仕方によって発症する徘徊、興奮、暴言等の「周辺症状」があります。なお、「周辺症状」は「中核症状」と異なり、誰にでも見られる症状ではありません。

シリーズ 人と人をつなぐ “やまびこネットワーク”

立野駅区の活動状況

立ちあげや連絡会など
お気軽にご相談ください。



立野駅区
佐藤 邦武 区長

自分たちで出来ることから始めていこう!

立野駅区では、社会福祉協議会が実施する住民同士の支え合い事業であります「やまびこネットワーク活動」に取り組んでいます。

まず、社協から南阿蘇村の現状や他の行政区の取り組みについてお話に来て頂きました。自分たちで出来ることから始めていこう!と民生委員さんや役員の方々の協力を得て現在は、月に一度、公民館で「ふれあいサロン」を開いています。



サロン事業では、社協からレクリエーションの輪投げ等を借りて、ゲームをしたり、世間話をしながらお弁当を食べたりと参加された皆さんも大変喜ばれています。

まだ立野駅区も活動を始めたばかりですが、ふれあいサロンでお互いに顔を合わせることで元気を確認したり、地域の方達の困りごとにも聞く機会となっています。今後は、サロンに参加される方達から地域の声かけの輪を広げていき、沢山の方にふれあいサロンに参加をしていただけたらと思います。立野駅区は住宅も多く、昼間はお仕事でなかなか顔を合わせない方も沢山おられ、一人暮らしや高齢者世帯も多くなってきています。今後は、安心して立野駅区でいつまでも暮らせるよう地域全体で支え合いのしくみづくりを皆さんと一緒に考えていければと思います。



楽しく話をしながらのお弁当



月に一度の「ふれあいサロン」は、元気の確認の場

地域全体で
支え合いの
しくみづくりを。



輪投げの様子



安心して暮らせる
立野駅区に。

ドッチビーの様子

あとかき

福祉センターのもみじも紅く色づき、デイサービスに来られる利用者の目を楽しませてくれています。先日の「第8回みなみあそボランティアまつり」には、多くの村民の方に参加して頂きありがとうございました。講演では、RKKアナウンサー 木村和也さんより「言葉でつなぐ心の絆」についてお話がありました。

私達が日頃から使っている言葉は、長い歴史の中で育まれてきたもので、それだけに重みがあり自分達の生活や生き方を変える不思議な力があるようです。感謝や思いやりの言葉、敬いや励ましの言葉など心を豊かにする言葉をかけ合いながら職場や家庭、地域を明るくしていきたいですね。

今年も残りの1か月、何かと忙しくなりますが、体調に十分気をつけられお過ごし下さい。

みんなみんなの みなみちゃん

